

白石市市民経済部まちづくり推進課
令和3年度まちづくり交付事業

令和3年度「神石白石整備事業」 報 告 書

令和4年3月
百白プロジェクト

目 次

- 1, 第1回会議 3年5月12日(水曜日) 事業説明と今後の進め方・・・ p 1
- 2, 第2回土壌改良・植栽 3年5月27日(木曜)土壌改良・29日(土曜)植栽・ p 2
- 3, 第3回講座 3年5月29日(土曜日) 神石白石講座・・・ p 5
- 4, 第4回会議 3年6月16日(水曜日) 報告とこれからの日程説明・・・ p 8
- 5, 第5回除草・清掃 3年7月29日(木曜日) 除草・清掃・・・ p 9
- 6, 第6回石の巡礼ツアー 3年8月21日(金曜日) 白石石巡り・・・ p 10
- 7, 第7回除草・清掃 3年9月17日(金曜日) 除草・清掃・・・ p 14
- 8, 第8回会議 3年10月21日(木曜日) 絵葉書について・・・ p 15
- 9, 第9回会議 3年11月25日(木曜日) 絵葉書完成発表・・・ p 17
- 10, 第10回会議 4年1月28日(金曜日) 次年度の活動について・・・ p 18

神石白石整備事業【第1回】

日時	令和3年5月12日（水曜日） 17時～18時
会議名	事業説明と今後の進め方
場所	コワーキングスペース Syu
司会・進行	山田光彦 神石白石整備事業プロジェクトマネージャー
参加人数	13名（男性13名）

【次第】

- 1、挨拶及び事業概要 : 神石白石整備事業統括責任者 山田泰
- 2、事業実施計画及びスケジュールの説明 : 企画担当 佐藤基之

以上、2件の内容をメンバー全員の了解を得た

【説明内容詳細】

- 1、白石まちづくり交付金（¥144,400）が既に入金済みになった件
- 2、実施計画の全体像の説明
- 3、人員配置案について
- 4、事業スケジュール案について
- 5、神石白石講座の予定を決める（5月29日10時～12時、白石中央公民館、講師山田政博氏）



神石白石整備事業【第2回】土壌改良・植栽

日時	令和3年5月27日（木曜日） 9時～10時30分（土壌改良） 令和3年5月29日（土曜日） 13時30分～16時（植栽）
活動名	土壌改良（27日）と植栽（29日）
場所	神石白石
担当	山田光彦・鈴木北斗
参加人数	延べ19名（27日：男性10名、29日：男性9名）

【内容】

- 1、5月27日 : 植栽する場所の砂利を除き新しい土を埋め土壌改良を行う
- 2、5月29日 : 下記植栽リストの植栽を行う
植栽終了後にコワーキングスペース Syu にて会議

【植栽リスト】

1、樹木

- ヤマブキ（白花） 花期4～5月
- トキワマンサク（白花） 花期4月～5月
- バイカウツギ 花期6月～7月
- ギンバイカ 花期5月～6月
- シャシャンボ 花期5月～7月

2、宿根草

- ブルネラキングスラム 花期5月～7月
- ラムズイヤースタキスビザンチナ 花期5月～8月
- ガザニアタマゴボーロ 花期4月～9月
- セントーレア 花期4月頃
- タナセナジャックポット 花期5月～7月

- サイネキューブツリージャーマンダー 花期 6月~8月
- ユーホルビアシルバースワン 花期 4月~6月



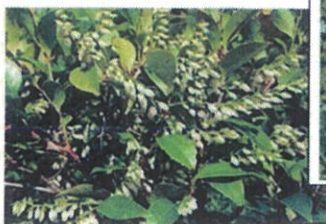
ヤマブキ



ギンバイカ



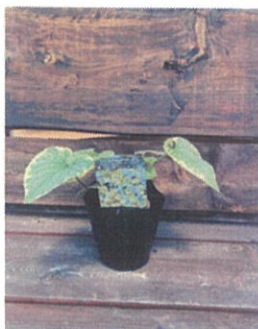
トキワマンサク



シヤシヤンボ



バイカウツギ



5月27日



5月29日



神石白石整備事業【第3回】神石白石講座

日時	令和3年5月29日（土曜日） 10時～12時
講座名	神石白石講座
場所	白石市中央公民館視聴覚室
講師	山田能資氏（大蔵山スタジオ社長）・山田政博氏（大蔵山スタジオ相談役）
参加人数	12名（男性10名、女性2名）

【次第】

- 1、挨拶及び講師紹介 : 総括責任者 山田泰
プロジェクトマネージャー 山田光彦
- 2、神石白石講座 : 大蔵山スタジオ相談役 山田政博氏
大蔵山スタジオ社長 山田能資氏

【講座内容】

1、白石の地名由来の石

・神石白石には「この石が根白石にまで繋がっている」という伝説がある。一方、根白石には、仙台市史によると「源頼朝が鹿の巻き狩りを行い、白い大鹿を矢で打ったのを確かめたところ、鹿ではなく白い石だったというところから、根白石という地名になった。その石は刈田白石まで繋がっている」という伝説の石があったとされるが、この石は今はない。

・石を視ると、根白石まで繋がっているとは思えなく、何のつながりなのか両地の共通性を探ってみることにする。

・仙台市泉区根白石との共通性は次の通り

	白石	根白石
製鉄遺跡の存在	深谷地区に14ヶ所	堂所遺跡等4ヶ所
平安時代の仏堂遺跡	堂田遺跡	堂庭廃寺宝塔跡
相似形の山を遥拝	青麻山	泉ヶ岳
製鉄にちなむ地名	大太郎川	銅谷山

・根白石の地名には源頼朝伝説があるが、白石がシロイシと何故よぶようになったかの

文書・資料が何もない

・白石の堂田遺跡からは二こぶ山の青麻山がきれいな形に見えることから、その仏堂遺跡が山岳信仰に基づく遙拝施設だったのではないかと考えられている。一方の根白石地区の堂庭廃寺宝塔跡は堂庭山という標高 250m の小高い山の中腹にあるということで、現地を訪れた。山頂からは泉ヶ岳が見えた。それも白石の堂田遺跡から見た青麻山と同じような二こぶ山のきれいなかたち。泉ヶ岳の遙拝施設としてここに仏堂をつくったのだと瞬時に理解できた。当時、白石と根白石の人びとは同じ景色を遙拝施設から見ていた。

・製鉄を生業としていたタタラ集団が根白石から移住してきたと仮説を立ててみる

・ここで大和朝廷の国家形成の流れをふり返ってみる。

・大和朝廷が奈良に都をつくったのが 710 年。715 年には現在の関東地方から 1,000 戸が塩釜経由で移民

・当時、大和朝廷の支配層は陸路ではリスクがあるので、外洋船で鹿島から塩釜に上陸した。その集団の中に製鉄技術をもつタタラ集団がいたと思われる。

・鉄は軍事力や生産力を高めるためには必要不可欠な物資である。

・陸奥国府・多賀城に大規模な製鉄遺跡「柏木遺跡」（奈良時代 8 世紀前半）をつくり支配力を高める。

・さらに支配地を広げるために朝廷側の人びとは各地に広がっていった。その一部の人たちが、関東から塩釜に上陸⇒⇒多賀城⇒⇒根白石⇒⇒白石という流れで白石に定着したのではないか？

・根白石の人たちは同じような景色と土地の特徴を持つ白石の地区に愛着を覚え、根白石と同じような地名「白石」と名付けた。

・根白石地区のタタラ集団が「神石白石」に当時の人々の繋がりや思いを託し、伝説として残したのであろう。

2. 霊石としての石

① 神が宿る磐座（イワクラ）として信仰をされていた

・磐座とは神が宿る石、神が一時的に依りつく石として、古代から続く石を対象とする信仰形態である。

② 神石白石は凝灰岩で、人工的であるかどうか分からないが「盃状穴」と認められるような穴がある。「盃状穴」は有史以来世界中で確認されているが、詳しい用途は不明である。霊石の霊力を頼り、治癒効果を期待して石の粉を薬代わりに用いて付けられたと思われる。

③ 神石白石が根っこで根白石とつながっているとは到底思われず、何処からか持ってきてここに据えられたと考えられる。

・神石白石はまずは遙拝石として堂田遺跡に祀られ、その後荒れ果てたままになっていたのを、その故を知る人が多くの人々に大切に石として扱われるようにと、市中の今の場所に持ってきたのではないか？

・では、そもそも白石神石はどこから持ち込まれたものか。

・神石白石は風化して黒ずんでいるが、もともとは白い凝灰岩。

・白石には凝灰岩が取れる地域が幾つかある。石倉地区の最終処分場付近と郡山古墳遺跡群のある郡山地区

・多分、堂田遺跡の遙拝石として祀るために、霊力を感じさせる郡山古墳群の近くから持ってきたものではないかと推測する。

3、現在もパワースポットとして市民に愛される石

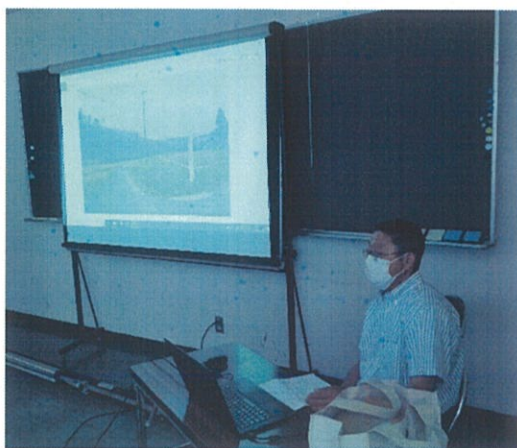
① フーチが右回りに回る

② 縁結びの効果

4、まちおこしの要石として

① 石にスポットを当てた展開

② 根白石との交流の基となる石



神石白石整備事業【第4回】会議

日時	令和3年6月16日（水曜日） 17時～18時
会議名	これまでの事業説明とこれからの日程
場所	コワーキングスペース Syu
司会・進行	山田光彦 神石白石整備事業プロジェクトマネージャー
参加人数	11名（男性11名）

【次第】

- 1、挨拶及びこれまでの活動報告 : 神石白石整備事業統括責任者 山田泰
- 2、これからの活動スケジュール決定 : プロジェクトマネージャー 山田光彦

【決定スケジュール】

- 1、神石白石清掃活動 : 7月30日 16時～
- 2、石に係る巡礼コース視察研修 : 8月21日 13時～
- 3、白石高校グリーンゼミとの交流活動
ゼミの講座で活動紹介：6月28日 14時～白石高校にて
担当：山田泰、佐藤基之
- 4、次回の百白委員会：7月30日（金曜）17時30分～ みのりキッチンにて

以上

神石白石整備事業【第5回】清掃

日時	令和3年7月29日（木曜日） 16時～17時
活動名	神石白石除草と掃除
場所	神石白石周り
担当	山田光彦 神石白石整備事業プロジェクトマネージャー
参加人数	9名（男性9名）

【活動】

- 1、神石白石周りの除草及び掃除
- 2、掃除終了後にコワーキングスペース Syu にて会議



神石白石整備事業【第6回】石の巡礼ツアー

日時	令和3年8月21日（金曜日） 13時～16時30分
活動名	白石まち歩き「石の巡礼ツアー」視察研修
場所	市内各所
担当	山田政博（神石白石整備事業アドバイザー、大蔵山スタジオ相談役）
参加人数	15名（男性12名、女性3名）

【活動内容】

アドバイザー山田政博氏の案内で「石の巡礼ツアー」を視察研修する

研修終了後にコワーキングスペース Syu にて会議

【コース内容】

城下駐車場 13時集合マイクロバスにて出発⇒⇒堂田遺跡⇒⇒女房石⇒⇒埋蔵文化保存庫

⇒⇒深谷地蔵⇒⇒切通公園（蛇淵）⇒⇒鷹巣石神社⇒⇒城下駐車場着後会議

【研修詳細】

1. 堂田遺跡

兎捨川北岸の水田の中にあり、1m前後の自然石が5列6行で並び、平安時代の草葺きか檜皮葺きの仏堂風の建物と推定される。古くからの山岳信仰や神話も多く古代信仰上の中心的施設と考えられている。

遺跡からは北の方角に、山岳信仰の対象である頂が二つの青麻山が望まれる。仙台市泉区根白石地区の堂庭廃寺宝塔址のある洞庭山山頂からも同じように頂が二つの泉ヶ岳が望まれ、洞庭廃寺宝塔址もまた平安時代の仏教建築址であることから、時代をさかのぼってみると、白石市と根白石地区との関連性があるのではないかと考えられる。



2、女房石

深谷道内原の畑にあるひし形の大岩。膨らみ具合が女陰に似ているとか、十二単を着た女官の姿に似ているとかで、女房石といわれている。斎川の道祖神の男根石に対するものだという(白石市史・白石地方の伝承)



3、埋蔵文化保存庫

深谷地区の大太郎川流域などから縄文中期から後期にかけての遺跡が数多くの発掘されており、それらの遺跡から奈良時代から平安時代のタタラ遺跡も多数発掘されている。その遺跡の発見や発掘調査に大きく貢献した故佐藤庄吉氏の自宅敷地にそれらの遺物が保存されている。(白石市史・別巻 考古資料館)

タタラ技術は 3 世紀ごろに朝鮮経由で日本に伝わった大陸の技術である。奈良時代に今の関東地方から塩釜の港に大量の移民が渡ってきて、多賀城を東北経営の拠点にしたという史実や、多賀城には柏木遺跡という大規模な当時のタタラ遺跡があり、また根白石地区にも 5 カ所のタタラ遺跡が発掘されていることから、深谷地区のタタラ遺跡は多賀城から根白石地区を經由したタタラ技術集団が携わったものと推定されるのではないか。



4、深谷地蔵

深谷地蔵堂には1716年造立の大型地蔵尊が祀られているが、その右側に建立されている5基の石碑の台座には東北地方では珍しい「盃状穴」がつけられている。盃状穴は先史時代のもも確認されており、地域的にも世界的に見られるが、学術的にはその意味は確立されておらず謎である。疫病退散や病気治癒のために石神様の靈力にすがった民間信仰の跡だとする説もある。盃状穴は関東地方までは確認されているが、東北地方で確認されるのは大変珍しい。



5、切通公園（蛇淵）

掘割等、水の豊かな白石市の原点となる「片平隧道」を見学。

白石川からの取水場所も見学しようとしたが、草が生い茂っていて断念した。

6、鷹巣石神社

古くは、この地内に石神屋敷があったが、石のご神体は今でも「いぼ取り神」として祀られている。昔は参詣者が多かったというが、今でも「いぼ取り神」の靈力を聞きつけて、遠くから訪れる人がいて、実際に完治しているという。

(前半は白石市史・地名の研究)

現在、石神社を管理している佐藤氏の話によると、「大宮の板前職人さんが、両手にアザが広がっていて困っているのを、お客に見られても安心して料理ができるように直した」、「小学生が全身イボだらけで学校にも行けないのを直した」、「医者でも直せなかった出ベソを直した」という。





神石白石整備事業【第7回】除草・掃除

日時	令和3年9月17日（金曜日） 16時～18時
活動名	第2回目神石白石除草と掃除と会議
場所	コワーキングスペース Shu
担当	山田光彦 神石白石整備事業プロジェクトマネージャー
参加人数	除草・掃除8名（男性8名） 会議10名（男性10名）

【活動】

1、神石白石周りの除草及び掃除（16時～17時）



2、コワーキングスペース Shu にて会議

- ① 作成中の神石白石絵葉書の評価
全員一致で絵葉書を承認に至る

- ② 今後の活動について
梅花藻保護育成についての意見交換

神石白石整備事業【第8回】絵葉書作成

日時	令和3年10月21日（木曜日） 17時～18時
活動名	神石白石絵葉書デザイン案、その他についての会議
場所	コワーキングスペース Shu
担当	山田光彦 神石白石整備事業プロジェクトマネージャー
参加人数	10名（男性10名）

【内容】


- 1、神石白石の絵葉書のデザインについて話し合わせ、下記デザインで決定する
- 2、梅花藻の保護保全活動について話し合わせ、セブンイレブン記念財団公募助成にエントリーすることを決める
- 3、次回のミーティング期日を決めて散会する




サイズ 100x148mm



PostCard


切手をお貼り
ください

 白石の縁結びのハワースポット「神石白石」 しんせきしろいし

神石白石整備事業【第9回】絵葉書完成披露

日時	令和3年11月25日（木曜日） 17時～18時
活動名	神石白石絵葉書完成発表及び一年の反省（納会）
場所	コワーキングスペース Shu
担当	山田光彦 神石白石整備事業プロジェクトマネージャー
参加人数	10名（男性10名） 納会出席者数17名

【内容】

- 1、神石白石の絵葉書、1000枚の完成発表及び絵葉書の配布の方法を話し合う
- 2、梅花藻の保護保全活動でブンイレブン記念財団公募助成にエントリー終了を発表
- 3、次回のミーティング期日を決めて散会する（令和4年1月）
- 4、納会

神石白石整備事業【第10回】次年度の方針会議

日時	令和4年1月28日（近曜日） 17時～18時
活動名	令和4年度の活動方針を話し合う
場所	コワーキングスペース Shu
担当	山田光彦 神石白石整備事業プロジェクトマネージャー
参加人数	9名（男性9名）

【内容】

- 1、神石白石整備事業の来年度の活動方針を話し合った結果、下記の通り合意をみる
 - ◇ 従来通りまちづくり助成金に申請する
 - ◇ 最初の設置者と話し合い、おみくじ掛けをリニューアルする
 - ◇ 清掃・除草は2回程行う
 - ◇ 石のツアーはモニターツアーを実施する
 - ◇ 絵葉書の増刷
 - ◇ 植栽した植物の経過観察し枯れたものがあれば、再植栽
- 2、別事業で梅花藻の保護保全活動をブンイレブン記念財団公募助成にエントリーしているので、結果によっては開始する。
- 3、次回のミーティング期日を決めて散会する（令和4年2月）